

# 平成 23 年 8 月 天理市自立支援協議会定例会

平成 23 年 8 月 19 日(金)午後 1 時 30 分～天理市役所 5階 533会議室

★ 参加者 31名

## 1. 障害者相談支援活動報告(平成 23 年4～6月分)

### ① 支援内容別件数

	平成 23 年 4 月分		平成 23 年 5 月分		平成 23 年 6 月分	
	実日数	延べ回数	実日数	延べ回数	実日数	延べ回数
電話による相談	10	18	14	33	17	41
来所による相談	9	14	12	23	7	8
メールによる相談	0	0	1	1	0	0
家庭訪問	2	2	5	6	7	10
面談	9	12	0	0	1	1
他機関への同行	0	0	0	0	3	3
個別調整会議	1	2	1	1	0	0
連絡調整	9	20	0	0	0	0
その他	1	1	3	3	3	3
合計	41	69	36	67	38	66

### ② ニーズ別件数

	平成 23 年 4 月分		平成 23 年 5 月分		平成 23 年 6 月分	
	実日数	延べ回数	実日数	延べ回数	実日数	延べ回数
サービス利用	8	13	8	12	12	20
障害や病状	0	0	6	9	9	11
健康・医療	3	3	8	14	6	7
不安の解消・情緒安定	2	2	1	1	0	0
保育・教育	0	0	0	0	0	0
家族関係・人間関係	3	3	2	3	2	1
家計・経済	7	7	7	10	1	2
生活技術	4	4	3	4	3	3
就労	3	3	3	3	3	3
社会参加・余暇	6	7	0	0	0	0
権利擁護	0	0	0	0	1	1
その他	10	27	12	14	13	19
合計	46	69	50	70	50	67

### ③障害別実人数

	平成 23 年 4 月分	平成 23 年 5 月分	平成 23 年 6 月分
身体障害	5	8	5
知的障害	2	3	3
精神障害	9	11	11
発達障害	1	0	0
高次機能障害	0	0	0
その他	4	0	0
その他（重複）	3	1	0
合計	24	23	19

## 2. 天理市自立支援協議会の活動報告と提案

### ● 平成 23 年度定例会

- \* 5月19日(木) 午後2時～ 参加者 34 名

<講演会> 「奈良県における障害者就労支援の現状～職業センターの取り組み～」

講師: 松村匡平 さん 障害者職業カウンセラー

- \* 8月19日(金) 午後2時10分～ 参加者 31 名

<座談会> 「障害のある子ども支援体制の充実に向けて」(報告: 別添)

～各機関から提案や意見交換～

### ● 専門部会

#### ◆ 就労支援部会

##### ★天理わくわくショップ企画会議

第2回 7月29日(金)午後1時30分～ 市役所B31会議室 参加者13名

- \* 展示と授産品の販売を行うにあたり、駅前広場の活用について討論した
- \* 次回は準備物など具体的な内容について検討する

##### ★サークル支援部会 『たこ焼きパーティー』

7月30日(土)午後5時30分～午後7時 30 分 天理市立中央公民館

参加者 12 名 スタッフ 6 名

- \* 昨年、7月に活動してから部会の開催がなかったため、1年ぶりに活動を再開した。
- \* 今回は、2つのグループに分かれて、日頃の仕事や趣味の話などをして、たこ焼きを自分たちで焼き食べるという内容であった。500円の参加費でたこ焼きをたくさん食べることができ、参加者は満足していた。
- \* 参加者から、次回もたこ焼きパーティーやボーリング、カラオケをやりたいという声があがったので、今後、自主的にやれることを目指し、活動を進めていきたい。
- \* 今回の参加者が男性のみであったので、次回は、女性にも参加してもらえる内容も検討していく。

#### ◆ 精神障害者部会

第1回 7月13日(水)午後1時30分～ 天理市文化センター 参加者 9名

- \* 天理市の精神保健福祉についての現状を話し合ったあと、精神障害者に対応してくれるホームヘルパー派遣を増やすための活動について意見交換した。
- \* 精神障害者の障害特性を再確認しサービスの充実をはかる勉強会を次回の11月定例会で実施することになり次回の部会で対象者と内容を絞る。

#### ◆ 権利擁護部会

- \* 第三者後見人について市町村から委託されている所が近畿圏内にあるので調査を進めていく。年内に候補地を検討して先進地の視察等を予定。

#### ◆ こども部会(庁内連絡会議)

第1回 7月5日(金)10時～ 市役所 121会議室

- \* 児童福祉課、健康推進課、学校教育課、社会福祉課の担当者5人が参加
- \* サポートブックの活用について話し合った
- \* 平成24年度から、各機関が相談時に記入しながら配布する
- \* サポートブックは保護者が持っていて支援者と確認して記入していくことを確認

第2回 8月11日(木)10時～ 市役所 522会議室

- \* 児童福祉課、健康推進課、学校教育課、社会福祉課と杉の子学級が参加
- \* サポートブックの活用について再度確認し平成24年4月からの児童福祉法改正にともなうサービスの変更について意見交換
- \* 座談会「障害のある子ども支援体制の充実に向けて」について確認した
- \* 次回は、それぞれの部署に係る支援のネットワークすり合わせ、より充実した支援体制づくりをめざす

#### ● 討議課題について

★ 2011.7.4付 県立二階堂養護学校 育友会 天理地区の提案

- ① 災害時の福祉避難所の設置について
- ② 自主防災組織について:要支援者支援計画への障害者・児の登録は可能か?
- ③ 子どもの緊急受診や親の入院などの緊急時のサポート体制について
- ④ 学童保育のような障害児や健常児も含めたサークル活動の立ち上げなど、障害児の放課後・長期休暇の居場所づくりについて

<提案についての取り組み>

①～②については、天理市災害時要援護者避難支援計画に沿って今後アンケートなどを行いながら進めていく

③～④については、今後、子ども部会を開催し議論を進める

#### 3. その他会議等

次回 全体会 平成23年11月22日(火) 午後1時30分～

市役所5階 533会議室

内容:精神障害者のサービス充実をはかる勉強会(予定)

★討議課題を募集しています! いろいろな情報を教えてください!

## 座談会「障害のある子ども支援体制の充実に向けて」

### ～各機関から提案や意見交換～

8月19日(金) 午後2時10分～

- \* 平成24年4月の児童福祉法改正で施策の主体が変わる。現在、児童デイサービスを行っている事業所からは、職員の配置基準やサービス内容が変わるのか不安が大きい。現在の状況はとてもしんどいという意見があった。
- \* 保護者が持ち支援者と確認しながら記入していくことを確認しているサポートブックは、来年度に配布予定。このサポートブックについて、保護者からは「障害を持つ子どもの育児は精神的にもしんどい。そんな時サポーターのような人に記入してもらえたら有難い。」「親が記入する個別支援計画と重複するのでは？」などの意見が出た。また、支援する側としては、「本人の状態がよくわかって対応しやすい。」「聞き取りの時間短縮ができスムーズなサービスが提供できる」などの意見があった。
- \* 保健センターでは個別の発達相談が年間300件ある。2歳までの80%は障害とはわからない。母親がうつ傾向だったり子育て支援も必要である。就学前の児童が通所する杉の子学級では、親同士のつながりが持てるようになり、小学校につながるケースもある。二階堂養護の先生からは小学校の特別支援学級の先生から支援方法の相談があった等、各方面での連携が進んでいる。
- \* 保護者から、ヘルパー利用しプールやサイクリングに行くがマンツーマンで出かけるのではなく、少人数でのスポーツや仲間作りにおける感動も育てて行きたいという意見があった。やまびこ太鼓は見学に行き体験できたが、もっと健常者と一緒にできる場所がないかと思う。また、あおぞら倶楽部に行けばコミュニケーションの練習になり、たくさん子ども達の中での経験は成長に繋がる。あおぞら倶楽部は、11年前に杉の子学級と仔鹿園を卒業した子どもを持つ母同士で立ち上げた。現在は旧祝徳幼稚園跡地で、本人と障害をもつ家族・友だち、マンモス(天大ボランティア)が参加し、感覚統合訓練や、アニマルセラピー、ミュージックセラピー、山登りなどのレクリエーションも行っている。
- \* 今後、子ども部会の定期的な開催を重ね、サークル活動や放課後、長期休暇など児童の居場所づくりについて議論をしていきたいと考えています。